

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成29年7月7日

施設名	のいち動物公園	所管課	土木部 公園下水道課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県のいち動物公園協会	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
施設所在地	高知県香南市野市町大谷738		
事業内容	1 公園の利用許可及び利用料金の徴収 2 公園の施設及び物品の維持管理 3 公園の設置目的を達成するための企画及び実施 4 動物の飼育と展示 5 種の保存、自然保護、調査研究 6 県民やボランティア等との協働事業の推進 7 公園に関する要望及び苦情の処理 8 緊急対応体制の確立 9 清掃及び植栽管理 10 警備業務		
施設内容	【公園全体】 面積: 19.9ha 開館時間: 9:30~17:00 休園日: 月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月27日~1月1日 入園料: 大人460円(年間1,540円) 18歳未満・高校生以下・高知県長寿手帳を持参の方は無料		
職員体制	常勤職員: 25人 非常勤職員: 11人 契約社員: 5名 合計: 41人(職員数は平成29年5月1日現在)		

2 収支の状況

単位: 千円

		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
収入	県支出金	381,056	384,190	382,549
	使用料・手数料	25,071	22,906	25,092
	その他	1,771	6,182	2,407
	収入計 (a)	407,898	413,278	410,048
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	178,594	177,625	177,511
	人件費	229,304	235,653	232,537
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	407,898	413,278	410,048
収支差額 (a) - (b)		0	0	0

3 利用状況

	平成27年度(実績)	平成28年度(実績)	平成29年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	169,485	159,453	160,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催時、ゴールデンウィーク、夏休み期間等、入園者が多い時期に手渡しによるアンケートを実施 ・1回あたり10～100件のアンケートを回収している。 <p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを良い点、要望・苦情などに分類し職員間で共有するとともに、要望・苦情については管理運営に反映を行っている。 ・喫煙に対する苦情から、5月31日の世界禁煙デーに園内全面禁煙を実施し、今後は常時の全面禁煙を実施する予定 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関「のいちの風委員会」から、近隣施設との周遊についての提言をいただいたことから、ゴールデンウィークなどのイベント開催時に、アクランド～フジグラン～のいち動物公園間の周遊バスを実施した。 		
③その他特記事項			

4 平成28年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービス向上のため、日曜と祝日に挟まれた定休日開園や、開園記念日の無料入園、閉園時間を延長した夜の動物公園の実施など、柔軟な対応を行っている。 ・清掃は園内の隅々まで行き届いており、来園者からの評価も高い。 ・近年様々な動物種で新規導入が難しくなってきたため、動物の繁殖を強化しており、今年度はビントロングやアミメキリンなどの繁殖に成功するなど、14種102頭を生育し、動物園の役割の一つである「種の保存」を果たしている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づいて適切に行われている。 ・視覚障害者を主な対象とした「触る動物園」を開催するなど、年間企画イベント45、月間企画イベント10、展示企画イベント6の計61企画イベントを実施 ・物部川地域の観光産業関係者との広域連携など、利用者層の拡充に向けた取組は評価できる。 ・中学生、高校生の職場体験や学芸員資格の博物館実習等の受入れ、教育用標本貸出、子ども科学図書館などでの園外講演など、幅広い年齢層を対象とした教育普及活動を継続的に行っている。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の入園者数は、秋の大型連休がなかったなどの理由から、前年度比94%の15万9千人となったが、目標の16万人に近い数字となっている。 ・入園者数は、休日の日数や天候に大きく影響を受けるが、今後も積極的なPR活動を継続し、入園者数の増加に努めてもらいたい。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・経費節減に努めたが、入園者数が減少したことで入園料も前年比で216万円の減額となっている。
総合評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が適正に実施されたと認められる。 ・職員が美観意識を持ち、きめ細やかな清掃を行うなど、美観を保つ取組を積極的に行っているところは評価できる。 ・天候などにより入園者数は前年度に比べ減となっているが、近隣観光施設と連携してイベントを実施するなど、利用者の増加に向け多くの取組を行っていることは評価できる。 ・県内だけでなく県外から集客を増やす取組も行っており、今後も継続して

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの